

研修報告書

令和 6 年 5 月 16日 (木)

長浜市議会議長 中川勇 様

長浜市議会議員 竹本直隆

私が出席した次の研修の結果について報告します。

記

1. 研修名 会派「新しい風」行政視察
2. 研修日時 令和6年5月14日(火)～令和6年5月15日(水)
3. 研修場所 東京都内閣府・総務省 文科省 横浜市役所
横浜市立みなと赤十字病院
4. 研修テーマ ふるさと納税・デジタル田園都市構想について
横浜市立みなと病院の指定管理者制度導入について
5. 講師 自治税務局市町村税課鈴木洋平氏・内閣府参事官補佐石田一眞氏、文科省大臣官房審議官伊藤学司・高等教育専門教育課企画官森次郎氏、横浜市医療局病院部長白木健介氏
横浜市立みなと赤十字病院院長大河淳氏・みなと赤十字病院事務部長柳田幸夫氏
6. 調査内容感想等

・研修の目的

ふるさと納税で得た資金の長浜市での活用はどのようなものか。今後の消滅可能性都市と自治体での対策については本市での対策はどんなことが考えられるかなど。農業専門学校の必要性と学校誘致に向けての要望。横浜市立みなと病院の指定管理者制度導入後の経過について。

・研修の内容

デジタル田園都市構想では国からの交付金設定され、活用することによる過疎化対策、地域連携、地域振興に大いに寄与されることが推測されると説明を受けた。地方創生推進タイプと地方創生拠点タイプの2通りが2つとも活用ができ、長浜、敦賀、高島との連携事業なども観光、地域振興など様々にプランができるのではないかと思う。

・研修の結果を本市にどのように反映させるか

横浜市立みなと病院の指定管理者制度での病院経営は当初、市が想定していた以上に医業収益は上がり、職員退職に至ってはドクターでは退職した医師はいましたが、赤十字本社からの支援で問題は起こらなかった。看護師などの職員の退職による混乱もなく正常な病院経営がなされているとのことでした。さらには市民のための病院であるとの議会との共通認識でこの病院再編を進めて来たとの心強い発言には感服した次第です。

横浜市とみなと病院からの説明を反対しておられる議員にも是非聞いて欲しい内容であったと痛感しました。

農業専門学校の新たな国での創立要望についても文科省森審議官は熱心に聞いていただき感激しました。全く新しい農業専門学校の創立アイデアには少子化が進み学校統廃合が叫ばれる中において新鮮な提案であったと思います。長浜市においても農業高校やバイオ大学などがあり、子供少子化による定数割れが出ている現在、新たな取り組みとして高大連携の枠組みの中で農業専門学校新設も視野に入れても良いのではないかと思います。
